

12/9
(水)

森林づくり推進協が体験活動開催 重機操作し林業学ぶ

長島の森林づくり推進協議会（原口元昭会長）は、12月9日、山門野地区で森林・林業体験活動を開きました。

県の森林環境税事業を活用して行われ、当日は川床中学校の1年生13人が参加。森林の働きや林業が果たす役割について学びました。

林業体験では、会員らの指導の下、重機を操縦した生徒たちは木の伐採や搬出に挑戦。林業への理解を深めました。

森永咲希さんは「私たちの生活を守る森林の大

切さが分かった。重機を実際に操縦して林業のイメージが変わった」と充実した様子でした。



スギの伐採を見学する生徒ら

12/10
(木)

年末年始の交通事故防止運動 三色餅で交通安全訴え

阿久根地区交通安全協会長島東支部（荒田哲雄支部長）は12月10日、信号に見立てた三色の餅で交通事故防止を呼び掛けました。

この取り組みは「年末年始の交通事故防止運動」の一環で、今回は同会員のほか東町漁協の職員も参加。赤崎橋パーキングパークで約200袋の三色餅と啓発チラシをドライバーに手渡しました。

東町漁協の小崎美里さんは「一人ひとりが安全運転を心掛けるきっかけになれば」と話しました。



ドライバーへ餅を手渡し安全運転の呼び掛け

12/10
(木)

長島町ICT活用研修会 GIGAスクール構想備え

12月10日、町教育委員会は町内各小中学校の教職員約20人を対象にICT活用研修会を行いました。

これは令和3年度から町内の小中学生に1人1台の情報端末が整備される「GIGAスクール構想」導入に向けた取り組みの一環です。

会では、マイクロソフトが提供するクラウドサービス「Teams」の使いかたなどを学習。オンラインでのミニテスト作成や宿題管理のデモンストレーションなどに臨みました。

伊唐小学校の有働典也教諭は「ネット環境を活用

した教育の推進とともに子どもたちにメディアリテラシーなどを身に付けさせることが重要」と話しました。



端末を前に研修を受ける職員ら